

# 平成29年度 自己評価報告書 (評価編)

評価対象期間 自：平成28年4月 1日  
至：平成29年3月31日

評価基準日 平成29年5月 1日

平成29年7月



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

## 目 次

教育重点項目 1 .....	1
教育重点項目 2 .....	2
教育重点項目 2 .....	3
1. 教育理念・目的・育成人材像等 .....	4
2. 学校運営 .....	5
3. 教育活動 .....	6
4. 学修成果 .....	8
5. 学生支援 .....	9
6. 教育環境 .....	10
7. 学生の募集と受入れ .....	11
8. 財務 .....	12
9. 法令の遵守 .....	13
10. 社会貢献 .....	14
11. 国際交流 .....	15

## 教育重点項目 1 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	②	1	0
重点-1	教育の質保証	4	3	②	1	0

### ①課題

オリジナル教材化が捗々しく進んでいない学科や資格の取得状況が芳しくない学科がある。

### ②今後の改善方法

オリジナル教材化および資格取得の達成度の低い学科では、平成 29 年度の「学科の目標」「各教員の目標」に設定し、取組み状況の報告と管理指導を徹底する。

### ③特記事項

## 教育重点項目 2 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点-2	新設学科開発フレームの作成	④	3	2	1	0

### ①課題

### ②今後の改善方法

### ③特記事項

### 教育重点項目 3 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点-3	新入生アセスメントの作成・実施	④	3	2	1	0

#### ①課題

#### ②今後の改善方法

#### ③特記事項

1. 教育理念・目的・育成人材像等 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1	0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1	0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1	0
1-4	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	0
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

## 2. 学校運営 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
2-6	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	0
2-7	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	0
2-8	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1	0
2-9	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1	0
2-10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1	0
2-11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	0
2-12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	0
2-13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1	0

### ①課題

2-11 コンプライアンス体制案は策定されているが、内部監査担当の人选がなされていない。

### ②今後の改善方法

2-11 コンプライアンス体制の詳細について、NEXT10 プロジェクトにて平成 29 年度中に決定する予定となっている。

### ③特記事項

2-13 平成 29 年より、NEXT10 プロジェクトの検討テーマである「統合基幹業務システムを活用した業務改善」にて「経営戦略に資する情報のアウトプット」「各部署における業務改善」「学生サービスの向上」の観点から活用方法を検討する定となっている

### 3. 教育活動 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
3-14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1	0
3-15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	0
3-16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1	0
3-17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1	0
3-18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	④	3	2	1	0
3-19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	0
3-20	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	0
3-21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	0
3-22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	0
3-23	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	②	1	0
3-24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	0
3-25	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行なわれているか	4	③	2	1	0
3-26	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行なわれているか	④	3	2	1	0
3-27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1	0



## ①課題

- 3-14 基本理念体系をまとめる要素の一つとして、教育に付随する三つのポリシーの策定を進めているが、今のところ完成に至っていない。
- 3-16 カリキュラムポリシーに基づいたカリキュラム編成を目指しているが、今のところ各学科のカリキュラムポリシー策定までに至っていない。
- 3-23 目標資格を取得する指導体制に改められているが、学生全員が資格を取得して卒業するという目標は、今のところ達成できていない。
- 3-25 学科長を中心に関連業界との連携が進められているが、時代の変化と共に技術革新が激しい業界に対応して、優秀な教員を確保していくことは容易ではない。

## ②今後の改善方法

- 3-14 『教育に付随する三つのポリシーの策定のためのガイドライン』の完成と共に、ガイドラインに則った各学科のポリシー策定を計画的に進めていく。
- 3-16 各学科のカリキュラムポリシーを策定し、ポリシーに則ったカリキュラムを編成することで、より体系的なカリキュラムへ更新する。
- 3-23 改めて、目標資格を取得させる指導体制を確立するため、各教員の意識改善及びカリキュラムの見直しを図る。
- 3-25 教育、教務部と人事部が連携し、組織的な人材育成および人材の採用確保に取り組む。

## ③特記事項

#### 4. 学習成果 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
4-28	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
4-29	資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	0
4-30	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1	0
4-31	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	0
4-32	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1	0

##### ①課題

###### 4-29

学科ごとに定めた全員が最低限取得する資格の合格率の合格率は 100%を目指すべきであるが、平成 28 年度は遠く及ばない実績であった。

###### 4-30

退学率の低減を図る取り組みは、平成 27 年度同様に実施したが、結果として 1.3p の増加となった。内容を見ても、学習理由による退学の増加が著しい。

##### ②今後の改善方法

###### 4-29

特にクリエイター養成学科において資格取得に向けた学生の動機づけが必要である。同時に、合格に向けた受験対策にも注力する必要がある。

###### 4-30

退学理由（学習理由）の中で最も多いのは、①学習内容のミスマッチである。また、アンケートの結果から、退学したいと思わせる原因として、②単位取得や就職など将来の見通しが立たなくなることである。①については募集イベントにおける入学前の情報提供に関して、②については学習上のフォローアップに関して、さらに力を注ぐ必要がある。

##### ③特記事項

## 5. 学生支援 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
5-33	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-34	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-35	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-36	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	0
5-37	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-38	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	0
5-39	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1	0
5-40	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1	0
5-41	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	0
5-42	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行なわれているか	④	3	2	1	0

### ①課題

### ②今後の改善方法

### ③特記事項

5-35 日本学生支援機構奨学金貸与希望者に対する入学前説明会について、予約採用者だけでなく新規希望者に対しても実施しきめ細かい対応ができた。厚生労働省主管専門実践教育訓練給付講座に、平成26年度3学科、平成28年度4学科が指定を受け、平成28年度電気工学科在籍者中5名が給付金を受給している。

6. 教育環境 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
6-43	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	0
6-44	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1	0
6-45	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

## 7. 学生の募集と受入れ 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
7-46	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	0
7-47	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1	0
7-48	学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0

### ①課題

### ②今後の改善方法

### ③特記事項

平成 27 年度は、「オープンキャンパス&体験入学」と「デモンストレーション・体験授業」の 2 種類の募集イベントを実施したものの、入学検討者にとって実施内容の違いが分かりにくい面があった。この反省点を生かし、平成 28 年度から「オープンキャンパス&体験入学」に両イベントの内容を集約した形で実施する事で入学検討者が参加しやすくなるよう改善した。

## 8. 財務 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
8-49	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1	0
8-50	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0
8-51	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	③	2	1	0
8-52	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	0

### ①課題

8-52 財務情報の公開においては私立学校法にもとづき財務書類等閲覧規定により所管部署が開示請求に対応できる体制を整え、新たにホームページ上で財務諸表の公開も実施しているが、今後事業計画や事業報告についても公開できるよう検討が必要である。

### ②今後の改善方法

8-51 今後は、会計監査の強化という観点から監事による会計監査とともに、公認会計士による会計監査を受けるべく体制を整備する。

### ③特記事項

財務全般 学校法人会計基準が大幅に改正され、平成 28 年度の会計処理および計算書類の作成から、新しい学校法人会計基準の適用となった。

9. 法令等の遵守 評価と今後の改善方法 教育重点項目

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
9-53	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	0
9-54	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1	0
9-55	自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	④	3	2	1	0
9-56	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

## 10. 社会貢献 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
10-57	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	0
10-58	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1	0
10-59	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	0

### ①課題

10-59 平成 28 年度、一般の地域住民に対する公開講座を実施したが、参加数を増やす方策が必要。

### ②今後の改善方法

10-59 平成 29 年度より日経新聞販売店と協力して、イベントの開催や集客を図る予定

### ③特記事項

学生ボランティア活動において、現在は学校主導で行われているため、学生主導でボランティア活動が活発になるよう仕組みを検討しなければならない。



11. 国際交流 評価と今後の改善方法 教育重点項目

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
11-60	留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	④	3	2	1	0
11-61	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1	0
11-62	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	④	3	2	1	0
11-63	学習成果が国内外で評価される取り組みを行なっているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項